

発達支援トレーニング らんぱす 支援プログラム

●事業所理念

体験型スポーツ活動や様々な活動を通し子どもたちの心身の成長を応援すると同時にやり抜く力「GRIT（グリット）」の獲得と生きる力を育みます。

- Guts→困難なことに立ち向かっていく「度胸、闘志」
- Resilience→失敗してもあきらめずに続ける「粘り強さ」
- Initiative→自ら目標を見つけて取り組む「自発性」
- Tenacity→目標達成に向けてさいごまでやり遂げる「執念」

●支援方針

「子どもは成功体験の積み重ねにより自己肯定感を持つようになる」と言われています。成功体験を多く積くことも大切ですがそれと同時に「失敗や負け」を経験することもらんぱすでは必要であると考えます。そのためにやや「高度なメニュー」にチャレンジしたり、サポートを最小限にして見守ったり、ときには厳しい声掛けで鼓舞することがあります。療育プログラムを実践するにあたり、私たちは性急に結果を求めたりせず、長いスパンでお子様たちをサポートしていきます。

●支援内容

本人支援 ①健康・生活

健康的な生活習慣の獲得、健康な心と生活のスキルアップを目指します。感情のコントロールの練習なども含みます。

本人支援②運動・感覚

運動能力の向上を図ることにより「できた」という自己肯定感や自己効力感を高め、日常生活や学習活動に結びつけます。

本人支援③認知・行動

適切な行動が獲得できるよう様々な活動を通し支援します。認知の偏りに対する誤学習の状況に応じた適切な行動への対応力を養います。

本人支援④言語・コミュニケーション

適切なコミュニケーション能力の獲得や自己表現力の向上を図り社会生活における関係性やコミュニケーション能力を高めます。自分も周りも大切にするコミュニケーションを学び、言葉だけでなく、ジェスチャー・カード等を使い個々にあった方法を一緒に考えます。

本人支援⑤人間関係・社会性

集団活動でのルールに合わせた行動や社会参加の経験を通じて、他者との関係や社会性の向上を図り、社会生活における適応力を養います。集団生活における人間関係において相手も自分も大切にしたい行動を選択できるように支援します。

家族支援

個別面談を通しご家族・ご兄弟を支援します。希望される方には「ペアレントトレーニング」を実施致します。

移行支援

次のライフステージに繋がるよう、地域の事業所等と連携を図り見学・実習を行います。また卒業生の体験なども発信しスムーズに移行できるように支援します。

地域支援・地域連携

地域で行われる行事に積極的に参加、地域の施設・事業所と連携をとり他者との関わりがスムーズにできるように支援します。

職員の質の向上に資する取組

スタッフミーティングのほか、月1回の職員研修によりスタッフの支援の質の向上に努めています。また外部研修へも積極的に参加をしています。